※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツ概論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	やさしいｽﾎﾟｰﾂ医科学の基礎知識（嵯峨野書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的、計画的な実践に活用できるようにするとともにスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

2　学習の到達目標

a・体育理論やスポーツ医科学を中心に学習し、トレーニング方法やスポーツ医学について知識理解を深める。専門の講師を招いて学習を行い、より専門的な技術の取得を目指す。
b・授業で得た知識を活用し、自己や仲間の課題に応じた運動方法を考え取り組み問題解決できる。
c・グループでの課題研究を実践し、仲間と共に自ら学び実践する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	記録や技能向上の為にコンデション理論やテーピング技術を理解し、運動の合理的な実践を通じて種目特性に応じて技能を身につけ活用する力を養う。スポーツの意義やトレーニング・救急処置等についての知識を深め、今後のスポーツとの関わり方を理解する。	授業で得た知識を活用し、自己や仲間の課題に応じた運動方法を考え取り組み問題解決できる。学習で得た知識・成果を活用する力を養う。	自ら進んで講義･実習で得た知識を吸収し、実践できるように積極的に取り組む。主体性を持って授業に参加する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	スポーツコンディショニング	・身体と心のつながり ・育成年代のコーチング ・セーフガーディング	a:身体と心のつながりを理解し、運動の合理的な実践を通じてスポーツの指導法を身につけ活用する力を養う。 b: 運動やｽﾎﾟｰﾂの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習した知識を活用したり、応用したりしている。 c: 運動やｽﾎﾟｰﾂの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を解決するための活動などを通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	振り返りシートを用いてのチェックテスト	振り返りシート内でのレポート	受講態度の観察
		・スポーツ医学 ・スポーツ栄養学 ・スポーツ生理学	a:スポーツにおける各分野の知識を身につけることで、将来のスポーツライフにつながる力を養う。 b: スポーツの各分野について資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 c: 各分野の意義について、資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	振り返りシートを用いてのチェックテスト	振り返りシート内でのレポート	受講態度の観察

※令和４年度以降入学生用

2学期		コンディショニングの実際 ・ストレッチング ・マッサージ ・体育的活動における事故防止 ・研究発表に向けた課題研究	a: コンデショニング理論を理解し、運動の合理的な実践を通じて種目特性に応じて技能を身につけ活用する力を養う。 b: :コンディショニングの意義について資料等で調べたことを基に、課題を見付けたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 c: コンディショニングの意義について、資料を見たり、、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	振り返りシートを用いてのチェックテスト	振り返りシート内でのレポート	受講態度の観察
3学期		・研究発表 ・スチューデントトレーナー資格試験 ・まとめと振り返り	a: スチューデントトレーナー資格試験に臨み、スポーツ医科学に関する基礎知識を理解した解答ができる。 b: 関心のある分野に対してより研究と考察を深め、仲間と協力して発表することができる。 c: :スポーツ科学について、テーマを見つけ、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。研究発表にの準備に積極的に取り組んでいる。	ST 資格試験 振り返りシートを用いたチェックテスト	振り返りシートを用いたレポート	受講態度の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度